

第6章

震災時における学校対応の関係資料



平成23年度 東日本大震災被災県の県外視察研修会 報告書

静岡県私学協会 係長 曾根明美
静岡県私学教育振興会 主事 長島有紀

1. 期 日 平成23年9月15日(木)～9月17日(土)
2. 視 察 先 ① 常盤木学園高等学校(宮城県仙台市青葉区小田原4丁目3-20)
② 南三陸 ホテル観洋(宮城県本吉郡南三陸町黒崎99-17)
③ 学校法人石川高等学校(福島県石川郡石川町大室502番地)
3. 参加人数 20人
(地震対策委員会4名、防災安全教育専門委員7名、理事長・校長・教職員7名、事務局2名)
4. 報 告

●1日目(9月15日)【常盤木学園高等学校】

昭和3年に常盤木学園高等女学校として設立。現在は音楽科のみ共学。「自由と芸術」という建学の精神のもと、心豊かな女性の育成に力を注いでいる。ユニークな授業による教育を取り入れ、進学にはもちろん、女子サッカー一部など部活動にも大変力を入れており、最近では卒業生のなでしこジャパンの活躍により名前を知る人も多い。



はじめに、松良校長より挨拶をいただいたが、今回の震災に対する行政の対応への不満がにじみ出ている。

常盤木学園は仙台駅から程近い場所にあり、津波の被害は受けなかったが、揺れの方向の関係か旧建築の校舎のダメージが大きく、現在も改修中であった。改修費は総額1億7千万円。これに対する国や県などの行政の補助は非常に厳しいもので、当初、私学財団から借入金のある学校には補助が出なかった。このことに憤りを感じ、議員を通して直接国に交渉するが、文科省大臣は私学のために闘う姿勢を見せてはくれなかったため、中高連を介して直接財務省に交渉する。最終的には国より1/2、県より1/6、市より1/6、合計5/6の補助をとりつける。しかし、指定避難場所ではない同校が、震災当日受け入れた地元の住民のために貸し出した毛布やベンチコートなどの備品が紛失していたことに対する補償は市でも県でもなかったという。

続いて、教頭先生より震災当日の様子について、説明があった。

3月11日、当日は、学年末試験の最終日であったため、ほとんどの生徒は下校していた。地震発生時に在校していた生徒は、部活動や試験勉強のため残っていた生徒で200名ほど。帰宅途中に被災し、学校に戻ってきた生徒もあった。

同地は特に南北方向の揺れが激しく、旧校舎がその影響を受けた。揺れが収まってから校庭に避難し、余震に備えた。夕刻に向け冷え込みがひどかったが、校舎には入れないため、校庭に車を集め暖を取らせた。そのうちに近隣住民が避難してきたが、同校は一時避難所であり、配給も備蓄もなかったため、生徒にも協力させて学校中から毛布等をかき集めた。また、飲料水などは運動部のストックを集め配給して凌いだ。7年前に建築した新校舎の被害が少なかったため、この1階に避難民・生徒を宿泊させた。しかし、ここには食糧等の配給が来ないので、翌日、教職員で手分けして避難住民を指定避難所に誘導。貸し出した備品の大半が無くなるなど、後片付けのほうが大変だった。特にトイレは停電により浄水タンクが動かなくなってしまい、半日くらいで水が無くなってしまい、後処理が大変だったという。

再開に向けて、当初、7～8割の生徒が登校できない状況であったため年度内の行事は中止。4月に入り公共交通機関が復旧、少し遅れて入学式・始業式を行う。通学困難な生徒には学校の一部屋を空けて宿泊させた。通学困難な生徒に対し、宮城県内の私立学校で協力し通学バス(私学バス)を運行させる計画もあったが、まとまらず、学校ごとに対応することとなった。

また、被災後、教職員にも自宅の復旧のため、全員に1週間の休暇を与えた。被災した職員のために就業規則を見直し、特別休暇、ボランティア休暇を設置。燃油不足で徒歩や自転車通勤となった教職員のためにも、始業時間や勤務形態をずらすなど対応した。

校舎の復旧は困難。旧校舎の3階4階（音楽室・コンピューター室などの特別教室が集中）では壁の崩落などがあり、修復工事のため現在も使用できない状態にあるという。旧校舎は私たちが訪れたこの日も工事用のネットで覆われていた。

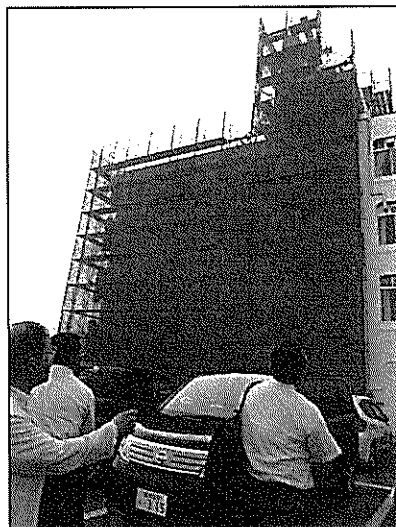
震災を通して、これまでのマニュアルは全く機能しなかったことを痛感。生徒の避難誘導など、マニュアル通りに行ったはずが、再度見回りをすると、途中で動けなくなって取り残されていた生徒がいたりした。各担当を決めておくなど、避難対応マニュアルの見直しが必要。また、これまでの避難訓練は定時（6時限目のHR）にしか実施していなかった。今回の地震が理科の実験中や、家庭科の調理実習中だったりしたら被害もどうなっていたかわからない。学校としての事前の対策が不足していたことを認識、訓練方法も見直しの必要がある。

また、非常に役に立ったのが携帯電話。震災後の停電により固定電話は使用できなくなったが、携帯電話は使用できた。生徒の安否確認などは、担任が直接話をできなくても、生徒同士でメールをやり取りし確認して連絡をくれたりした。3日ほどで全校生徒の安否確認ができた。ただし、停電により充電ができないので、自動車のバッテリーから接続できる機器を備えておく和良好的とアドバイスをいただいた。

生徒の心のケアについては、現在のところ特に目立った様子はなく、全員明るく元気で過ごしているという。また、震災により親を亡くした生徒や、失業による減収で経済不安を抱える家庭へは学費の補助をしたり、新入生についても罹災証明があれば入学金・授業料免除とするなど、震災により退学せざるを得ない生徒がないように支援している。

現在、一時避難所でしかない同校だが、今回のような災害があれば近隣住民は学校を頼ってくる。非常時に備え、何をどの程度備えておくか、費用も含め、その保管場所や管理方法など今後の課題である。

↓ まだ、工事用ネットのかかる校舎 →



●2日目（9月16日）【南三陸町】

地震後の津波により町が呑まれていく映像は、今も私たちの記憶に新しい。

南三陸町ホテル観洋にて女将の話聞く。

ホテル観洋は南三陸町の高台に立つホテル。太平洋を望む露天風呂などが売りだが、今回の震災による津波は方向的に「横から見る」という形だったという。従業員は約200名。震災直後の女将・阿部憲子さんの奮闘振りは各種メディアにも取り上げられた。

震災時、ホテルには20名ほどの利用客があった。時刻がチェックイン（15時）前であったので混雑が少なくすんだが、チェックイン後では当日600名ほどの予約があったのでどうなっていたかわからない。

揺れが収まったところで、利用客を避難誘導。土地柄、津波のことは念頭にあったが、あまりの大きさに、ただ町が飲まれていくのを見ているしかなかった。従業員の中には昭和34年のチリ沖地震の際の津波の経験者がいたが、今回の津波は当時の比ではなかったという。

ホテルも2階まで浸水したが、高台にあるためそれ以上の被害はなかった。まもなく近隣



の住民が避難してきた。

すでに電気、水道などライフラインがストップ。情報源はラジオしかなかったが、電池を使うので時間を決めて使わなくてはならず、情報がないということがとても心細かった。

その後、仙台市につながる道が寸断され、町が孤立したことがわかった。そこで、まず料
理長にホテルにいる利用客、避難してきた近隣住民、従業員の一週間分の献立を立てさせた。

従業員にはお客様・住民の皆様を優先することを指導。従業員には我慢してもらうこともあるが、食糧などあるものについては従業員同士では公平・平等を徹底させた。一日の食糧が笹かま一枚のときもあった。

期間を一週間としたのは、一週間経てば何かしら状況が変わっているはずと推測したから。それ以上は、利用客や避難住民はもとより従業員に無理をさせるのに限界があると感じた。

結果、宿泊客の見送りができたのは震災5日後の16日であった。

従業員の中には津波で家を流されたものも多数おり、ホテルにいるほうが安全であると判断しホテルに住まわせた。それでも自宅に戻るといふ者には「絶対に無理をせず、日が暮れたら近くの避難所に立ち寄ること」と言い聞かせて見送ったが、心配は尽きなかった。

震災直後は家族を探して歩き回る人が多かった。女将自身も小学生になる娘の安否確認ができたのは、地震から4日後だった。

しばらくすると、「身内が1人亡くなった」「2人亡くなった」「遺体が見つかったら良いほうだ」という会話が日常的になってしまった。

ライフライン等の復旧の遅さが身にしみた。

特に水の復旧が遅く、ホテルのある場所で4ヶ月、一番遅い地域で5ヶ月かかったという。

震災後、いろいろなところで支援体制を整えていたのに現場に結びついていなかった。

給水車は来るが、とても足りなかった。そのため地域を離れてしまう人もいた。

町の人々も洗濯などは川でできていて、まるで町全体がタイムスリップしたかのような光景だった。川の水が冷たく、とてもつらかった。

しばらくすると、仙台市内で洗濯ボランティアというのができた。但し、40km以上離れている仙台市まで洗濯物を持参し、取りに行かなくてはならないシステムだったので、ガソリンも不足している中、町のみみんなで協力してまとめて利用したりもした。

この間も、給水車を増やしてもらうことができないか交渉したが無理だった。

インターネットで海水を浄水に変える『淡水化处理システム』があると聞き問い合わせたが、初め、システムは企業向けにできておらず貸出すことができないと断られた。しかし、水がないという生活の現状をとにかく見てもらい納得。6月末ようやく淡水化处理システムを導入することができ、避難住民や地域住民に毎日お風呂を提供することができるようになった。

後で業者が言うには、3月末には淡水化处理システムの支援ができたのに、法律や行政の縛りがあり実現が遅くなってしまったということだった。

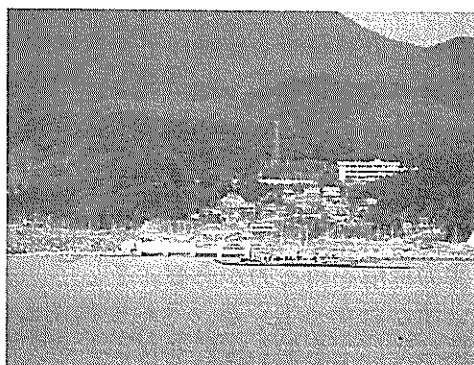
日本の法律は細かい決め事があり、SOSを出しても行政の許可がなければ援助できない。震災直後、そんな決め事など破って駆けつけてくれたのはアメリカ軍だった。地元の住民はとても感謝している。

水と同じく電力の復旧もなかなか進まなかった。停電・節電と続き、暗い部屋の中ですごしていると、同調するように人々も暗くなっていった。

女将はこれではいけないと思い、雰囲気明るくするため若い従業員に復興の様子などを
つづったブログを発信させた。

町の半分が津波に飲まれ、廃業の声も多く聞かれた。若い人たちの中には、継ぐはずだった家もなく、仕事もないので東京などに引っ越してしまう者が多くいた。

働く場所、店がなければ人々がどんどん出て行ってしまう。そこで、まず、ホテルの食事を再開。水が不足していたので、紙皿・紙コップでの給仕だったが、とにかく、働いてい



↑ホテルから見える町の様子

る姿を見せて、町のムードを変えなくてはいけないと思った。

避難所として、地域住民を受け入れ、高校生のいる家庭や、経営者を支援。6月17日にはホテル内に子供たちのために寺子屋を開設した。

現在は、避難所は終了したが、人々が集まる場所、人と人のつながりを忘れないために寺子屋は継続中である。ホテルの一角に子供たちのための図書室が置かれているのを拝見させてもらった。

また、他の避難所や仮設住宅を巡回するバスを出して、住民をホテルのお風呂に招待するなど、せっかくながつながったコミュニティを大切にしているという。

今、責任者として、震災時のその場の判断が問われている。マニュアルに沿ったために、多くの犠牲者を出してしまったところもある。

南三陸町は、もともと不便な土地柄、地元住民には支えあいの精神が根付いていたのも幸いしたが、とにかく、指導者・責任者として最初のルール作りではっきりとした方向性を示し、皆の理解を得る力が必要。そして、まず、行動してみる。ひとつ行動すると良い所と悪い所がわかってくる。それを踏まえて次に進むこともできる。すべてが復旧するまで、ただ待っていても何も変わらないと話した。

また、親や先代の言い伝えはとても大事で、この地域にも『津波てんでんに』という言葉が伝わっていた。まず、自分の身を守ることを考えることを優先しろという教えである。そのおかげで助かった者は多い。

震災はその土地に住んでいる人だけの問題ではない。出張先だったり、通りがかりだったりして被災することもある。誰の上にも起こり得ることである。

この機会に、被災した土地を訪れ、状況を見聞し、万一に備えるということはとても重要なことであると、女将は語った。

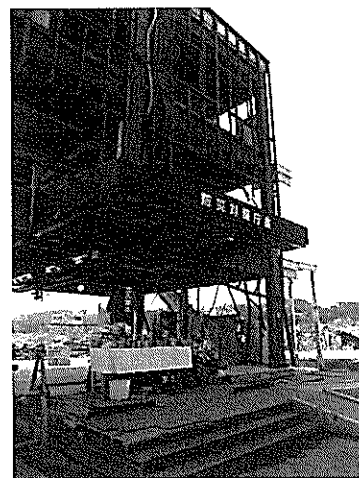
女将の話聞いた後、わずかな時間だったが、南三陸町内を見学することができた。

ホテルから被害の大きかった町の中に向かう道は、ここがかつて中心街だったという名残はどこにもなく、ようやく車道だけが整備されたというような状況だった。

建物は病院などコンクリート作りのものがわずかに残るだけで、津波で押し流された車や船が未だに建物の上に乗っているところもあった。

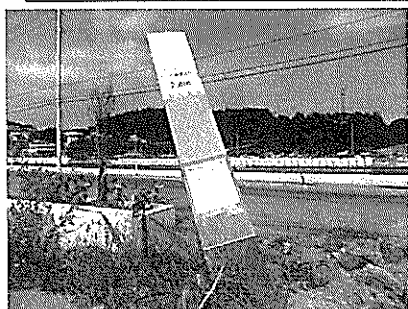
震災後、何度もテレビ映像で見た「防災対策庁舎」は鉄骨の骨組みだけが取り残されており、庁舎前には最後まで町内放送を流し続け亡くなられた女性職員への感謝の言葉と献花が多く捧げられており、参加者一同、冥福を祈った。

↓南三陸町の様子。津波以前は商店街が並び町の中心地だった。



↑防災対策庁舎

↓防災庁舎前。S34チリ沖地震の際の津波の水位を表す看板。これを悠に超えてきた。



津波により流されて、建物の上に押し上げられた船。→



● 3日目（9月17日）【学校法人石川高等学校】

明治25年石川義塾として創立。2012年には12周年を迎える、福島県内でも随一の伝統校。野球部の甲子園出場が夏9回・春3回を初めとして、運動部の全国大会における活躍が有名。近年では中高一貫教育校として進学にも力を入れている。スポーツのみならず、政界、財界、教育界などにも多くの著名人を輩出している。

森校長、教頭、事務長ほか福島県私立中学高等学校協会の事務局長および事務局次長にも同席いただき、震災当時から現在に至るお話を伺った。

石川町は人口1万8千人ほどの町で、町内には高校が学法石川のほかに、公立高校が1校あるだけの小さな町であるという。

地震発生時、石川町の震度は5弱。最初は生徒も教員も小さな地震だと思って過ごしていたが、なかなか揺れが治まらず、普通ではないことを悟った。

幸いにも、当校は来年120周年を迎えるにあたり、校舎を改築中、生徒達のいた教室は耐震工事が終了した後だったので、校舎内の物品などが倒れることもなく、武道場の天井が一部崩落したが、被害はほとんどなかったということだ。

また、石川町自体も『石の町』と呼ばれるほど、地盤が岩盤の強い地域のため、町の中の被害も少なく、JRこそストップしていたが、バスは運行していたので、すぐに生徒を帰宅させることができた。

JRを利用している生徒たちは、スクールバス5台を出し、それぞれ教員の運転で送った。

学法石川高校では、これまで年間2回の避難訓練しか実施しておらず、マニュアルも防災訓練や不審者対応マニュアルは作成していたが、地震については想定外でマニュアルの用意がなく混乱したという。

震災後、校長・教頭・事務長で対策を協議、3月14日に職員会議を開き、翌日から生徒、教職員ともに自宅待機とした。修業式も間近に控えていたが、前倒して春休みとした。各行事や部活動も中止とした。

石川町では被害も少なく、ライフラインについても電気・水道ともとまることなく、ほぼ平常どおりの生活ができた。そのため、学校を避難所として頼ってくる住民もなかった。

但し、他地域では、電気・水道が長期間止まったり、一部の生徒の自宅は一時避難を強いられたりするところもあった。また、ガソリンが不足し、JRも不通の状況が続き、教員も通勤できない状況が続いた。

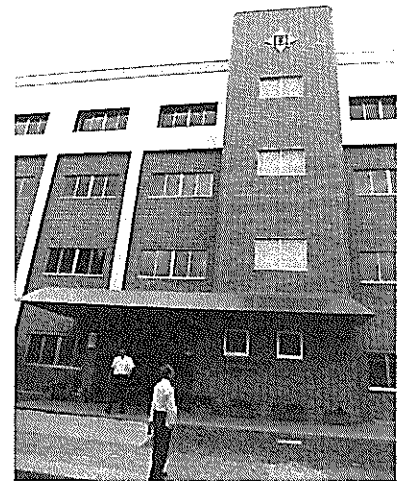
4月に入り、ガソリンが供給され始めたので、学校を再開。4月1日に職員会議、2日に新入生オリエンテーション、3日に中学オリエンテーションを実施。始業式は4月6日、入学式は4月7日に予定通り行った。新入生・在校生への連絡はメディアも活用し徹底させた。

震災後は、すぐに避難マニュアルを作成。また緊急連絡メール登録も活用。校内の防災対策を見直した。

今回の地震では、地震による直接被害よりも、東京電力の福島第一原発事故による風評被害のほうが深刻な問題となっている。

石川町は風向きの関係か、比較的、放射線量が低い地域ではあるが、それでも学校では毎日線量を測定、高圧洗浄機による除染も実施した。

放射能被害による転出者も当然出てきており、高校で1名、中学で5名、入学辞退が1名。これによる授業料の減収、県からの補助金の減収を含め営業損害として、賠償の対象となる見通しだが、具体的なことはこれから決まるという。



↑改築したばかりの新校舎は無事だった



続いて、福島県私立中学高校協会より福島県全体のお話を伺った。

県内で最も被害が大きかったのは、南相馬市や浪江町、双葉町などがある浜通りと呼ばれる地区で、承知のとおり津波の被害のみならず原発事故による被害が大きい。次いで、郡山市や福島市のある中通り地区で、福島県内でも多くの私立学校がこの中通り地区に位置している。

3月11日の震災以後、強い余震も続いており、福島県内の私立小中高校の中には、校舎が使用不可能になった学校もあり、その被害総額は41億円超である。

学校の被害状況にはかなり差があり、同じ郡山市内の学校でも1方は20億円の被害で、もう1方は6千万円の被害ということもあった。これは、学法石川高校の例もあるように、校舎の建てられている場所の地盤も大きく影響しているようで、静岡県の学校も今のうちに調べておくと良いだろう、とのことだった。

その後の復旧に向けては、県内でも主要道路や公共施設の復旧が優先されたため、私立学校には資材はおろか業者の手配も間に合わない状態だった。また、被害の大きい学校では資金調達も問題となっており、復旧が進んでいない校舎もあるという。

また、東京電力福島第一原発事故の影響は著しく、発電所から30km圏内にある1校は休校状態。30km圏外のいわき市、郡山市にある学校でも県外への転出者を多数出している。影響は児童・生徒だけでなく、教員にも出ており、自主退職や採用辞退する教員も多く、教員にこそメンタルケアが必要となっている。郡山市内では、連日1マイクロシーベルト前後の数値が出ており、住民の誰もが敏感になっており、屋外での活動は制限せざるを得ない状況である。

放射線量低減対策のため、グラウンドの表土の入れ替えなども各校行っているが、復興工事費用に加え、そのための費用がさらにかかり負担となっている。これらについては、原子力損害賠償として東京電力に補償を申請中。

放射線に関する情報の公開がないことから、風評被害は農作物にとどまらず、工業製品などにもおよび、「福島ナンバーの車」「福島県から来た」というだけで差別される事態も起きている。また、福島というだけで工事業者から請負を拒否されるケースもあり、復旧工事の難航に拍車をかけているという。

このたびの震災における、国や県に対する補助・支援要望はもちろん、東京電力に対しての賠償請求も協会が先頭に立ち交渉している。

静岡県も浜岡原発を抱えており、東海地震発生時には、今回の福島と同じ状況になることは十分に予想される。万一に備え、行政機関だけでなく、電力会社との間にも私学全体としての補償を今のうちに確約しておく必要があるだろう。

今の福島を見本とし、二の舞にならないようにしてもらいたいとの事務局長の言葉だった。

<視察を終えて>

今回の研修で、被災地の人々が口を揃えて言っていたのは、「東北に来てほしい」「現場を見てほしい」「現状を聞いてほしい」ということでした。現行のマニュアルの欠点、行政の脆さ、補償の不備など、震災を通して学べるすべてを学んで、手本とし、天災・人災含め、二度と同じ被害に合わないようにしてもらいたいという思いが強く伝わってきました。

静岡県は防災先進県といわれていますが、今回の東日本大震災のような津波被害や原発被害などは想定外でした。私たちは、今回の経験を生かし、年々、意識が薄れつつある東海地震への備えを改めて見直していかなければならないと感じました。

最後に、まだ震災の傷跡も深く、復興に向けて不安の残る中にもかかわらず、いずれの施設も快く訪問を受け入れてくださり、貴重なお話を聞かせていただいたことに深く感謝します。

(以上)

東日本大震災遭遇に関する質問事項

「震災前」…生徒への防災教育・啓蒙活動はどのように行われていましたか。

- ・避難訓練等実施状況はどんなでしたか。(地震対策・津波対策)
- ・防災マニュアル(県・職員の対応マニュアル等)は作成されていますか。
- ・防災設備・備品の整備はどのように行われていましたか。
- ・校舎等の耐震性と立地条件に対する認識はどのようなものでしたか。

「震災時」…当日の学校・生徒の状況は(14時46分時)?

- ・発災時生徒の安全はどのように確保されたのでしょうか。
- ・帰宅生徒・下校不可生徒の手段、対策は?
- ・生徒の安否確認の手段は?また時間はどれくらいかかりましたか。
- ・生徒が利用した避難所はどれくらいの数になったのでしょうか。
- ・避難所での高校生の活躍の様子が伺えたのでしょうか。(自主的なボランティア活動等)
- ・防災マニュアルは機能したのでしょうか。(機能した点、機能しなかった点)
- ・校内の対策委員会はどのようにして立ち上げられましたか。(被災直後の職員打合せは)
- ・生徒との連絡、職員間の連絡方法はどのようにしてとられたのでしょうか。
- ・被害状況(学校・生徒)はどのように把握されましたか。
- ・地域住民のための避難所防災備品の配布はされましたか。
- ・住民避難者に対する、教職員や生徒たちの支援にはどんなことがあったのでしょうか。

「震災後」…防災対策をどのように変更整備されたのでしょうか。

- ・学校の対策(教職員の個々の「危機管理意識」「危機管理能力」の養成と育成)
- ・行政の対策(対私立学校は?)
- ・家庭の対策
- ・学校再開までの道のり
- ・県内私立学校同士の連携、応援等の有無
- ・生徒への精神的ケア(発生した問題、カウンセラー用、生徒同士の助け合いなど)
- ・原発、放射能に関する風評対策および学校の現実対策指導

「その他」…今回の教訓をとおして、静岡県の学校へのアドバイスをお願いします

青森

被害状況調査票(3月28日 17:00現在)

【連絡窓口】	
部署名:	青森県総務部総務学事課
担当者名:	主事 若山真紀子
電話番号:	017-734-9869
FAX番号:	017-734-8006
メールアドレス:	makiko.wakevama@pref.aomori.lg.jp

■施設等被害(高等学校3校)

学校名	※該当被害に○を付けてください					被害の状況・内容
	全壊 半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	建物外 被害	
千葉学園高等学校		○				校舎の壁のひび割れ
向陵高等学校		○				校舎の壁のひび割れ
八戸工業大学第一高等学校		○				教室、廊下、外壁のひび割れ

※書物の落下など軽微な被害は含まない。

■学校管理下の人的被害

学校名	※該当被害に○を付けてください			被害者の情報(学生生徒/教職員) 被害の状況・内容 治療手当・回復等の状況
	死亡	重傷	軽傷	

※入院加療を要する場合「重傷」。

■休校措置(3/14以降の休校数:中学校2校、高等学校11校)

学校名	休校期間	備考
弘前学院聖愛中学校	3/14、3/16、3/18	地震休校(3/14)、計画停電休校(3/16、3/18)
八戸聖ウルスラ学院中学校	3/14、3/16~3/17	地震休校 3/15は午前のみ授業
東奥学園高等学校	3/17	計画停電休校
五所川原第一高等学校	3/15~3/17	公共交通機関の運休による休校
五所川原商業高等学校	3/15~3/17	公共交通機関の運休による休校
柴田女子高等学校	3/16	計画停電休校
光星学院野辺地西高等学校	3/14~3/18	地震休校
千葉学園高等学校	3/14、3/16、3/23	地震休校 3/15は午前のみ授業
八戸聖ウルスラ学院高等学校	3/14、3/16~3/17	地震休校 3/15は午前のみ授業
向陵高等学校	3/14~3/17	地震休校
光星学院高等学校	3/14~3/18	地震休校
八戸工業大学第一高等学校	3/14~3/18	地震休校
八戸工業大学第二高等学校	3/14、3/16~3/18	地震休校

岩手

3・11の東北・関東大震災被災等状況

23.3.14、22

学 校 名	災 害 状 況 等	備 考
岩手中・高	生徒、教職員：特に無し 施設：学校電話受信可、発信は不可 その他：自宅待機、3・15～17休校	復旧済み
岩手女子	生徒、教職員：なし 施設：調査中 その他：3・14休み、以降は未定	
白百合中高	生徒、教職員：全員無事 施設：屋根、壁のずれ その他：3・14～休校	
白百合小	生徒、教職員： 施設：体育館水銀灯一部破損 その他：3・14～休校	
江南義塾	生徒、教職員：なし 施設：なし その他：3・12、3・14～18休校	
盛大附属	生徒、教職員：特に無し 施設：ガラス破損、パソコン破損 その他：3・14～18休校	
スコーレ	生徒、教職員：特に無し 施設：暖房機器配管破損 その他：3・14～16休校、17～休み	
盛岡中央	生徒：全日制の生徒の親が沿岸の4家族の安否不明 単位制の生徒3名と8家族安否不明 教職員：なし 施設：テレビ等破損、ガラス破損	

	<p>その他：3・14～15 休校、16 は安全のみ登校</p> <p>※ 被災された入学生に対する特別措置</p> <p>入学時納付金全学免除（(入学金、施設設備費)</p>	
花巻東	<p>生徒、教職員：特に無し</p> <p>施設：体育館ガラス破損、校舎にひび</p> <p>その他：3・14～17 休校</p>	
専大附属	<p>生徒、教職員：特に無し</p> <p>施設：壁、ガラス破損、天井の一部落下</p> <p>その他：3・14～17 休校</p>	
水沢一	<p>生徒、教職員：特に無し</p> <p>施設：</p> <p>その他：3・14～22 自宅待機</p>	
一関学院	<p>生徒、教職員：特に無し</p> <p>施設：校舎基礎の沈下、天井の一部落下、漏水</p> <p>その他：</p>	
一関修紅	<p>生徒、教職員：特に無し</p> <p>施設：校舎外壁、ガラス、体育館屋根支柱の破損、寮屋上の庇落下</p> <p>その他：3・14～16 休校</p>	
三愛	<p>生徒、教職員：特に無し</p> <p>施設：ヒーター破損</p> <p>その他：3・14 休み</p>	

宮城

東日本大震災 私立学校被災状況及び今後の対応 (情報は随時更新されますので、必ず最新の情報をチェックしてください)

アンダーラインは今回更新分 (3/22 17:00現在)

2011/3/22 20:26

学校名 (高等学校)	最初に通じた連絡	建物等被災状況	人的被害状況	休校	修了式 (終業式)	二次手続	二次募集	新学期関連	備考
明成高校	3/16 9:35	・壁の一部割れており、専門家に見てもらっている。	・生徒・教職員全員の無事を確認	～3/24	中止	3/24～28受付 ①銀行振込 ②誓約書の提出(受験番号・中学名記入、入学金納入は後日)のいずれかの方法	・出願: 3/24～28 ・試験日: 3/29 午前9時 ・合格発表: 3/29 16時 ・入学手続き: 3/30 (銀行振込又は持参)	・3/18に予定していた新入生説明会は延期、日程が決定次第連絡 ・入学式: 未定 ・始業式: 4/8 (予定)	
東北生活文化大学高校	3/14 10:56	・壁崩落	・生徒・教職員全員の無事を確認	～3/27	3/28	公立合格発表日の2日後	・出願: 公立合格発表日の翌日まで ・試験日: 公立合格発表日の2日後	・3/24に予定していた合格者説明会は延期	
宮城学院高校	3/15 15:00 (現在も学校の電話は通じず)	・外壁のタイルが落下 ・ひび有り ・専門家に見てもらったところ、崩壊につながるものはない、とのこと	・1年生: 223人中、未確認の6人以外の無事を確認 ・2年生: 163人中、未確認の6人以外の無事を確認 ・3年生: 現在、安否確認中 ・教職員: 全員無事	メール等で連絡があるまで 春休み	3月中の学校行事は中止	・3/24～26 (10:00～13:00) ・諸事情によりこの日程で手続きができない場合は学校へ連絡 (連絡先は学校のHP参照)	実施せず	・3/25予定だった新高1オリエンテーションは延期 ・始業式: 4月下旬を予定、詳細はメール等で連絡 ・入学式: 4月下旬を予定、遅って連絡	・オーストラリアの海外研修は中止
東北高校	3/14 11:38	【小松島キャンパス】 ・壁に亀裂、一部崩壊、駐車場に地割れ (暴風が主) ・閉ざりにズレ	・教職員は全員無事 ・泉キャンパスの生徒1人、安否確認中 ・小松島キャンパスでは、3クラス分の安否確認が完了	～4/13	中止	・3/25	・出願: 3/24、25 ・試験日: 3/26 10時～	・新入生募集日: 小松島キャンパスは4/2、泉キャンパスは4/3 ・始業式: 4/14 ・入学式: 4/16 (小松島キャンパスは10時～、泉キャンパスは13時～)	
仙台青英学園高校	3/14 持参	・宮城野校舎は、使用不可。通信課程以外の全日制全生徒は多賀城校舎を使用。 ・多賀城校舎は若干の修繕が必要	・全生徒、全教職員の無事を確認 ・通信課程は不明だが、現在このところ悪い情報は入っていない	原則～6/8まで休校 ※ 備考参照のこと	中止	公立合格発表日の2日後	・試験日前日までの予定 ・試験日: 3/25多賀城校舎にて (二次試験と三次試験を同日開催) ・予備校校: 3/31 ・入学式: 5/12 10:00 ・5/13 全ての生徒の授業	・通信課程の卒業式は中止、証書を郵送 ・通信課程の入試は3/19以降、随時実施 ・二次手続の日に新入生オリエンテーション ・特別進学、外国語、英語進学コースの第3学年は4/15より多賀城校舎で授業再開	
聖和学園高校	3/15 9:55	・外壁割れが多少 (英師堂キャンパス) ・天井が落ちてきている教室有り (三神堂キャンパス)	・1年生 3人安否不明 ・教職員は全員無事	～4/15	中止	・3/25 ・ただし、4/8まで随時受け付け	・出願: 試験日の前日 ・試験日: 3/26 ・ただし、その後、4/8まで随時受け付け	【新入生】 ・予備校校: 4/18 ・入学式: 4/21 【在校生】 ・臨時登校: 4/19 ・始業式: 4/22	・避難所に指定されていないが、一時的に栗師堂キャンパス250人避難した
仙台白百合学園高校	3/14 11:50	・体育館の断熱材落下	・教職員は全員無事 ・中絶と合わせて4～5人の安否を確認中	～3/31	中止	公立合格発表日の3日後まで意思表示 (入学手続き金の納入は後日でも可)	・出願: 試験日の当日9時まで ・試験日: 3/25 ・合格発表: 試験日の午後	・始業式、入学式 未定 (4月中旬以降)	
尚絅学院高校	3/14 9:52	・4階の天井割れ、外壁落下、エキスパンションに崩れやズレ ・2、3階は軽微な損傷	・生徒全員の無事を確認 ・教職員全員の無事を確認 (非常勤講師の安否は現在確認中)	～4/12	中止	・3/28まで	・出願: 3/3～3/24 (受付は平日9:00～16:00、郵送可) ・試験: 3/25 ・合格発表: 3/25 19:00 ・始業式: 4/14 8:20 ・入学式: 4/15 10:00	・新入生登校日: 4/4 9:00 ・計画 (新高3): 4/13 9:00 ・計画 (新高2): 4/13 13:00 ・始業式: 4/14 8:20 ・入学式: 4/15 10:00	・新学期関連行事は、いずれも予定
東北学院高校	3/13 12:30	・各所コンクリート壁面の剥離、礼拝堂天井一部割れが落下 ・敷地面の陥没	・被災当日、休暇の教員及び欠席した生徒について調査中	～3/31	中止	3/28 10:00～15:00	実施せず	・3/24に予定していた新入生オリエンテーションは4月に延期 (日程は後日発表)	
東北学院榴ヶ岡高校	3/14 9:15	・体育館2階天井照明器具1個落下 ・保健室の仕切り壁崩落 ・音楽室天井落下	・被災当日、休暇の教員及び生徒について調査中	～4/14	中止	公立合格発表後3日以内 (土日除く) に入学意思を学校まで連絡	実施せず	【新入生】 ・入学意思確認: ～3/28 ・入学手続き: ～3/31 (入学金の延納は5/31まで) ・予備校校中止 ・入学式、保護者説明会、教科書販売: 4/16 【在校生】 ・始業式、教科書販売: 4/15 予定	

常盤木学園高校	3/14 13:10	・乗校舎：ひびがあるが支障なし ・西校舎：壁落下、給水管及びびタンク破損につき水が使用できず ・専門家の確認までは、立入禁止	・2年生の1人を除いて 無事を確認	～3/23	中止	出来るだけ3/25までお願いしたい。それ以降は要相談	・出願：3/26 9時まで ・試験日：3/25	始業式、入学式等 未定	一次避難所に指定されており、11日(金)日に400人泊、12日(土)16時に五城中へ移動
聖ウルスラ学院英智高校	3/14 13:25	・体育館の天井が割れて落下(使用できない状況) ・寮の内部が散乱して住める状況にないため、一時的に合宿所に避難、新寮へ引越予定	・全生徒、全教職員員の無 事を確認	～3/31	4/1	・3/25 15時まで ・入学の意思が明確で所定の金額を納入できない場合は相談に応じる	・出願：3/23～25 ・受付時間9:00～15:00 ・試験日：3/26 午前9時30分から 作文・面接 ・合格発表：3/26 電話で連絡 ・入学手続き：3/31	・入学説明会：3/31 ・その他 未定	・家を失い、避難所暮らしの生徒が24人
聖ドミニコ学院高校	3/15 15:40	・4階の壁に亀裂、コンクリート剥きだし等で使えない状況	・生徒・教職員全員の無 事を確認	～3/31	中止	・3/25	・出願：3/24まで ・試験日：3/25 ・合格発表：3/25	・新入生登校日：4月末 ・入学式、始業式：5月初旬	
東北工業大学高校	3/15 10:20	・武道館の天井落下 ・本館にひび等有り ・本館の3、4階は立入禁止 ・建て替えか補修か検討	・1～2年生 全員無事 ・3年生 確認中 ・教職員全員無事	～3/23	3/24 AM10～ 登校	・3/28 17:00まで (締切に関わらない場合は事前に連絡)	・出願：3/25朝まで ・試験日：3/25 ・合格発表：3/25 16:00	・3/20に予定だった新入生予備登校中止 ・4/7 9:00～始業式 ・入学手続きに関する具体的な事項は、入学二次手続き時にお知らせ(制服が間に合わないので、私服可)	・二次募集入試合格者の手続きも、3/25 17:00締切 ・入学手続きに関する具体的な事項は、入学二次手続き時にお知らせ
古川学園高校	3/14 14:12	・メインとなる北校舎と南校舎の20教室が地震沈下でゆがみ、1階の窓ガラスが全て割れた。 ・北校舎と南校舎を結ぶ連絡通路が液打ち状、 ・側溝に浸水	・生徒は全員無事と連絡が 取れた ・教職員全員無事	～3/27	3/28	3/24 16時まで ・期日までに手続きが困難な場合は、学校へ問い合わせ	・出願：3/24～3/25 9時まで ・試験日：3/25 ・合格発表：3/25 15:30 ・手続き締切：3/26 ～14時 ・震災により受験が困難な場合は学校へ問い合わせ	・新入生予備登校：3/27 ・新入生物品購入：3/29 ・入学式 未定 ・始業式 未定 ・入学手続き締切：3/26 14:00まで (震災により期日まで手続きが困難な場合は学校へ問い合わせ)	・避難所として第一体育館を使用
大崎中央高校	3/15 11:00	・壁の剥がれあり ・音楽室と理科室が使用できない状況	・生徒は全員無事を確認 ・教職員31人全員の無 事を確認	～3/22	中止	・3/25 12時まで ・入学の意思が明確で所定の金額を納入できない場合は相談に応じる	・出願：3/25の8:50まで ・試験日：3/25 ・面接、個人面接 ・合格発表：3/25の14:00 ・入学手続き：3/26の14:00	・新入生予備登校は延期、学校から連絡あり ・始業式 未定 ・入学式 未定	・避難所の指定あり。野球部雨天練習場を避難所として使用
気仙沼女子高校	3/17 10:20 (現在も学校の電話は通じず)	・体育館の天井の支柱20本落下、その他が下がり、 建物にヒビあり。専門家に確認してもらったところ、 使用できるとのこと。 ・水栓タンク、体育館天井、ポイラー室破損 ・マイクロバス2台水没につき、使用不可	・生徒・教職員全員の無 事を確認	連絡があるまで 休校	未定	3/30まで 気仙沼市内の中学校には連絡を 行わず、 ※県外在住等で手続きが間に合わない場合は、相談に	・出願：3/30まで ・試験日：3/31 ・合格発表：4/1(各中学校に連絡する) ・入学手続き：4/4	・入学者説明会及び入学式は未 定 後日連絡	
東陵高校	3/16 11:03 (現在も学校の電話は通じず)	・亀裂はあるが、大きな被害なし	・全校生徒290人中、 6人(1年1人、2年2人、 3年3人)以外の無 事を確認 ・教職員29人全員の無 事を確認	～3/18	・決定的な連絡 無し	・3/24～3/30(10:00～13:00)	・出願：～4/1 ・試験日：4/4 ・合格発表：4/4 14:00 ・学校事務窓口にて	・入学者説明会：延期 ・始業式、入学式：決定的な連絡 無し	・本来は避難所ではないが、臨時避難所として武道館に200人収容、気仙沼市が対応 ・地震当日は、午前中授業で、1、2年生が130人残っており、当日中に100人を親等に引き渡し、残り30人は鹿折中学校に避難
西山学院高校	3/14 15:25	・大きな被害なし	・生徒・教職員全員の無 事を確認	～3/15	中止	3/31	・試験日：3/25 (試験会場は仙台市内) ・各手続き締切は3/31	・3/15～ 春修休業 ・始業式：4/25 ・入学式：4/29 ・入学式：4/30	

東日本大震災 私立学校被災状況及び今後の対応 (情報は随時更新されますので、必ず最新の情報をチェックしてください)

2011/3/22 20:26

アンダーラインは今回更新分 (3/22 17:00現在)

学校名〔中学校〕	最初に通じた連絡	建物被災状況	人的被害状況	休校	卒業式	修了式(終業式)	新学期関連	備考
宮城学院中学校	3/15 14:00	・外壁のタイルが落下 ・ひび有り ・専門家に見てもらったところ、崩壊につながるものはない、とのこと	・260人全員の無事を確認	メールで連絡があるまで春休み	中止	中止	・3/24予定だった新中1オリエンテーションは延期 ・入学式:4月下旬予定、追って連絡	
仙台白百合学園中学校	3/14 11:50	・体育館の断熱材落下	・教職員は全員無事 ・高校と合わせて4~6人の安否を確認中	~3/31	3/30	中止	・始業式、入学式 未定(4月中旬以降)	
尚絅学院中学校	3/14 9:52	・4階の天井割れ、外壁落下、エキスパンションに崩れやズレ ・2、3階は軽微な損傷	・生徒発足の無事を確認	~4/12	中止	中止	・始業式:4/14 ・入学式:4/15 PM	新学期関連行事は、いずれも予定
東北学院中学校	3/15 9:55	・各所コンクリート壁面の剥離、礼拝堂天井一部割れ落下 ・敷地面の陥没	・被災当日、休暇の教員及び欠席した生徒について調査中	~3/31	中止	中止	・3/23に予定していた新入生オリエンテーションは4月に延期(日時は後日発表)	・学院中卒業生の高校入学手続 3/30 10:00~15:00
聖ウルスラ学院英智中学校	3/14 13:25	・体育館の天井が割れて落下(使用できない状況) ・祭の内部が散乱して住める状況にないため、一時的に各宿所に避難、新築へ引き予定	・生徒・教職員全員の無事を確認	~3/31	3/31	4/1	・入学説明会:3/31 ・その他未定	
聖ドミニコ学院中学校	3/15 15:40	・4階の壁に亀裂、コンクリート剥きだし等で使えない状況	・全生徒、全教職員の無事を確認	~3/31		中止	未定	
古川学園中学校	3/14 14:12	・メインとなる北校舎と南校舎の20教室が地盤沈下でゆがみ、1階の窓ガラスが全て割れた。 ・北校舎と南校舎を結ぶ連絡通路が波打ち状、 ・備前に浸食	・生徒・教職員全員の無事を確認	~3/27	3/26 (3年生のみ9時30分まで登校)	3/28	・新入生の1日入学は4月に延期(休日未定) ・入学式 未定 ・始業式 未定	

学校名〔小学校〕	最初に通じた連絡	建物被災状況	人的被害状況	休校	卒業式	修了式(終業式)	新学期	備考
聖ウルスラ学院英智小学校	3/15 14:00	・壁にひび ・換気扇落下 ・ジョイント部分少々落ちている	・生徒・教職員全員の無事を確認	~3/31	3/31	4/1	未定	
聖ドミニコ学院小学校	3/15 15:40	・ひび割れあり、復業は可能	・生徒・教職員全員の無事を確認	~3/31	3/26 PM	3/26 AM	・始業式:4/16 AM ・入学式:4/16 PM	
仙台白百合学園小学校	3/14 11:50	・体育館の断熱材落下	・生徒・教職員全員の無事を確認	~3/31	3/30	未定	・始業式、入学式 未定(4月中旬以降)	
啓明宮城小学校	3/16 14:10 (学校の電話には通じず)	・古い校舎のみ壁にひびあり、立入禁止 ・他の校舎は支障なし	・生徒・教職員全員の無事を確認	休校はせず、自主学習の扱い	3/18 休み	3/18 休み	当初予定通り4/8入学式	

学校名〔中等教育学校〕	最初に通じた連絡	建物被災状況	人的被害状況	休校	卒業式	修了式(終業式)	新学期	備考
秀光中等教育学校	3/14 持参	・多賀城校舎は若干の修繕が必要	・教職員全員の無事を確認 ・生徒の安否は確認中	~3/29	3/10済	中止	・第5、6学年は4/15から多賀城校舎で授業を再開 ・入学式:5/11 多賀城校舎にて	

学校名〔特別支援学校〕	最初に通じた連絡	建物被災状況	人的被害状況	休校	卒業式	修了式(終業式)	新学期	備考
いずみ養護学校	3/13	・体育館10cm程度浮いてずれているように見える。 ・本校舎ガラス割れあり ・専門家に確認後に生徒迎え入れ	・生徒・教職員全員の無事を確認	~3/23	3/10済	中止	未定	

福島

東日本大震災 被害状況

(平成23年4月11日現在)

学校名	生徒・保護者の被害状況	教職員の被害状況	学校の損壊等	休業措置等
【高等学校】	上段は在校生数 下段は新入生数	教職員数		
福島高校	在校生428名 新入生228名 人的被害なし。 【在校生の避難15名】 静岡・東京・新潟等	教職員74名 人的被害なし。	①壁のひび割れ多数 ②棟と棟とのジョイント部に大きな亀裂 ③実習室・実習棟の破損 ※3.23現在、破損状況調査継続中	新入生採寸等 3.28 春休みの登校日：現1年生 3.29 春休みの登校日：現2年生 3.30 始業式 4.14 入学式 4.15
福島成蹊高校	在校生708名 新入生342名 生徒の被害なし。 【在校生の避難39名】 県北以外に個別に避難	教職員80名 人的被害なし。	①ボイラー破損 ②壁一部損壊 ③各所ひび割れ ④茶室の瓦落下 ⑤水道管破損	教職員 3.27まで自宅待機 生徒 3.28まで自宅待機 新入生オリエンテーション 3.30 始業式 4.7 入学式 4.8 (新入生は卒業中学の制服で出席)
桜の聖母学院 高校	在校生377名 新入生160名 生徒の被害なし。 原発関係理由により 他県へ転校3名 入学辞退3名	教職員36名 人的被害なし。	①高架水槽全壊 ②建物のクラック、壁(石膏ボード)の剥がれ落ち数カ所 ※仮の給水管を配管し、飲料水は確保済み。 ※水不足でトイレは場所を限定して使用。	生徒 4.4まで休校 二次入試 3.18実施し、内容は当初と変更し面接のみとし、出願5名(全員合格)。 新入生オリエンテーション中止 入学手続き 3.17~4.8 教職員全員出勤 4.1 9時 始業式(離任式) 4.5 入学式 4.6 13:30 【運営上困っていること】 転校、入学辞退が出てきているのが不安

<p>福島東稜高校</p>	<p>在校生 491名 新入生 252名</p> <p>人的被害なし</p> <p>【在校生の避難31名】 県外：中国4名、フィリピン1名、東京8名、埼玉・千葉・神奈川各2名、北海道・秋田・山形・京都・名古屋・宇都宮・仙台各1名 県内：5名</p> <p>【新入生の避難2名】 中国</p>	<p>教職員 63名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>【教職員の避難1名】 三重県 (4.4に帰る予定)</p>	<p>①円形校舎4階講堂、窓ガラス半分破損 ②校舎内一部亀裂しコンクリートが落下</p>	<p>休校 3.14～3.18 春休み 3.22から 登校日（終業式、離任式） 3.29 始業式 4.8 入学式 4.9</p>
<p>聖光学院高校</p>	<p>在校生 434名 新入生 251名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>【在校生の避難14名】 中国3名、北海道・神奈川各2名、山形・栃木・新潟・東京・埼玉・金沢・チェコスロバキア各1名</p> <p>【新入生の避難3名】 栃木・佐賀・アメリカ</p>	<p>教職員 71名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>①ボイラー室の柱3本とも1部鉄筋が見える程コンクリートが崩れる。 ②西側増築した会議室、情報実習室の暖房用ラジエーター、コンピュータ等が倒れる。また、増築した接続部が剥がれた。 ③体育館と校舎の接続部（2階）が剥がれた。 ④事務室・職員室・教室等のガラスが10枚程度割れた。 ⑤木造モルタル造りの製図室のモルタルが剥がれ崩れた。 ⑥4階等の情報室（4教室）のパソコンが机上より落下し、約80台が壊れた。 ⑦礼拝堂の壇上の天井が落下 ⑧図書室の本棚がすべて倒れ、棚が使用不能となった。 ⑨野球場の照明灯コンクリート柱が傾いた。</p>	<p>二次選抜検査 3.23 始業式（離任式） 3.25 新入生オリエンテーション 3.26 辞令交付 3.31 始業式 4.8 入学式 4.11 10時から</p> <p>《運営上困っていること》 業者に修理の見積もりをとっているが、相当額がかかることが予測され、財政的に不安。地震災害による修繕費の補助をお願いしたい。</p>

<p>郡山女子大学 附属高校</p>	<p>在校生380名 新入生167名</p> <p>人的被害なし。 生徒の住宅状況は、半壊4件、火災1件、危険住宅2件。</p> <p>【在校生の避難37名】 県外：韓国1名、東京5名、山形・千葉・埼玉各3名、長野2名、宮城・茨城・群馬・神奈川・富山・大阪各1名、 県内：郡山6名、会津・須賀川各3名、喜多方・福島各1名</p> <p>【新入生の避難2名】 東京。 未確認3名。</p>	<p>教職員65名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>①給水塔のコンクリート柱4本破損 ②壁の亀裂10数カ所 ③渡り廊下破損</p> <p>※現在、専門家に調査依頼中で、安全が確保されてから、生徒の登校・入室予定。</p>	<p>終業式中止 新入生説明会 4.9 13:00 始業式 4.15 9:00 入学式 4.16 10:00</p>
<p>帝京安積高校</p>	<p>在校生約600名 新入生約370名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>教職員93名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>①5号校舎：改修、補強で対応できない損壊のため、立ち入り禁止 ②8号校舎：5号校舎程ではないが、立ち入り禁止 トイレの壁は、亀裂が入り一部剥がれ落ちる ③10号校舎：補修しても厳しい状況との見方。地盤沈下もあり。 ④視聴覚棟：天井落下。地盤沈下もあり。 ⑤武道館：天井の一部が落下 ⑥体育館：天井の補強ワイヤーが湾曲 外付け非常階段が本体と離れ危険 ⑦部室等：外付け2階渡り廊下、危険度が高いため部室棟立ち入り禁止 ⑧電気室：トランス1台が台座からずれて傾き、修理が必要 ⑨新校舎：屋上設置の空調設備故障 ⑩校舎ジョイント部分に亀裂 ⑪漏水状態（漏水場所不明） ⑫サッシ窓のガラス割れ多数</p>	<p>当分の間休校 終業式中止 併願者の入学手続きは、繰り下げて実施済み オリエンテーション 4.18 10:00 (郡山ビューホテルアネックス) 入学式未定 始業式 5.9 予定 入学式 4.28 10:00 (郡山ビューホテルアネックス)</p> <p>【運営上困っていること】 学校行事の立案に支障がある。 学校行事の情報伝達が曖昧になり、保護者からのクレームも出ている 仮校舎建設のための申請等がスムーズに行かない。</p>

<p>尚志高校</p>	<p>在校生759名 新入生399名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>【在校生の安否20名】 未確認</p> <p>【在校生の避難69名】 県内外：詳細未確認</p> <p>【新入生の避難38名】 未確認</p>	<p>教職員129名</p> <p>人的被害なし。 ※テレビモニターが足に落ちたための打撲程度1名</p>	<p>①棟（調理室含む8教室）が損壊 ②各校舎間の渡り廊下（つなぎ目部分、12ヶ所）破損し、使用不可 ③配水管は損により、一部校舎各フロアに上から水が入り浸水し、パソコン200台損壊 ④校地内の上水道配管が損壊。漏水あり。 ⑤体育館天井落下（一部管理室天井）内部鉄骨のはずれ ⑥正面玄関ガラス1枚破損 ⑦廊下ガラス数枚破損 ⑧一部校舎壁と配電線が剥がれ損壊</p>	<p>新入生オリエンテーション3.28 始業式4.15 入学式4.16 単位制通信制課程入学式4.20</p> <p>《運営上困っていること》 校舎1棟（9教室分）が使えず教室が不足している。財政面が心配。 水道が完全復旧していない。</p>
<p>日本大学東北高校</p>	<p>在校生892名 新入生511名</p> <p>3.31 現在人的被害なし。</p> <p>【在校生の避難1名】 東京</p> <p>【新入生の避難3名】 東京・千葉・埼玉</p>	<p>教職員113名</p> <p>3.31 現在人的被害なし。</p> <p>【教職員の避難2名】 アメリカ・フランス (2名とも帰国予定)</p>	<p>①ボイラー煙突脚部が鉄筋むき出し危険。切断解体工事着手。今季の暖房は、全教室に送気が出来ない。 ②校舎内のクラックは入っているが少ない。 ③最上階のバラベット、南側に水平にひび割れがある。 ④体育館の外周窓ガラス破損、屋根に押されて冊子が外側にはみ出し破損。危険ガラスをアクリル製に交換作業着手 ⑤実験棟Aの外の柱が剪断ひび割れ、1階にバットのひび割れ、壁面コンクリート剥げ落ち、危険。人の立ち入り禁止 ⑥実験棟Bに大きなクラックが入っている、大きなクラックが入っている、バテン型の剪断が入っている。 ⑦校舎・教室の暖房用ラジエーターの転倒による配管の破損も多く、撤去作業中。今季は使用できない。</p>	<p>終業式中止 新入生オリエンテーション中止 在校生登校日（教科書購入）4.13 始業式・着任式4.15 入学式4.14 9:30</p>
<p>学校法人石川高校</p>	<p>在校生546名 新入生276名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>【在校生の避難】 避難者はいるが、人数・場所は未確認</p>	<p>教職員62名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>①講堂2階部分の天井が破損 ②体育館の照明2ヶ所破損 ③セミナーハウスのボイラー破損。照明破損 ④校舎と校舎の接続通路1～3階各部破損 ⑤校舎内各所に「亀裂、ヒビ」が多数 ⑥女子更衣室天井、壁の破損都全体的な歪み ⑦グラウンド一部陥没、地割れ数カ所 ⑧プール及び付属施設に「亀裂、ヒビ」が多数</p>	<p>休校3.14から 終業式中止 教職員休業3.18～3.22 新入生オリエンテーション4.2 始業式4.6 入学式4.7</p> <p>《運営上困っていること》 水郡線不通により、代替え通学手段として、学校でバス4台を手配中。一部学校負担が出てくるので、財政面で厳しい状況が出てきた。 講堂（武道場）の修繕見込みが立たず、運動部等の練習場所が今後も確保できない状態。</p>

<p>学校法人若松 第一高校</p>	<p>在校生 136名 新入生 73名</p> <p>3.22 現在人的被害なし。</p>	<p>教職員 24名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>①ガラス10枚程度破損</p>	<p>後期入試 3.22 始業式 4.8 入学式 4.11</p> <p>《運営上困っていること》 体育館の壁やガラスに被害があり、新学期まで 使用できない。</p>
<p>会津若松ザベ リオ学園高校</p>	<p>在校生 210名 新入生 139名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>【在校生の避難 3名】 新潟 2名、大阪 1名</p> <p>【新入生の避難 2名】 海外・新潟</p>	<p>教職員 30名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>①体育館の窓ガラス1枚破損</p>	<p>新入生オリエンテーション 3.23 午前中のみ 始業式 4.8 9:00 入学式 4.8 13:30</p>
<p>仁愛高校</p>	<p>在校生約 335名 新入生約 124名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>※地震発生時、倒れたロッカーにあたって、生徒 2名軽傷。</p>	<p>教職員 37名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>①看護管理室（1階）入口壁亀裂 ②理科室（1階）内壁亀裂 ③看護実習室（2階）入口壁亀裂 ④中央廊下（2階）壁亀裂（一部落下）、天井ボード一部落下、つなぎ目ずれる。 ⑤教室（2階）壁亀裂 ⑥職員室屋上の軒天（2階）以前修理した軒天の一部落下 ⑦女子トイレ入り口（2階）屋上ドレーン管破損にて水漏れ ⑧新校舎への廊下階段つなぎ目（2階）壁ずれてパネル外れる。 ⑨家庭科室（2階）室内換気扇の蓋落下、壁亀裂 ⑩北側外壁（2階）屋上ドレーン管破損 ⑪体育館ステージ天井かにコンクリの破片落下</p>	<p>終業式中止 3.14 登校できる生徒は登校したが2校時で下 校させた。 休校 3.15 3.16 から自宅学期の期間でそのまま休み。 専攻科休校 3.15 から 新入生オリエンテーション中止 始業式 4.11 入学式 4.15</p> <p>《運営上困っていること》 校舎等の緊急修理・修繕等で苦慮している。</p>

<p>福島県磐城第一高校</p>	<p>在校生151名 新入生約70名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>【在校生の避難49名】 埼玉・東京各3名、群馬・新潟各2名、茨城・滋賀各1名、他関東圏及び福島県内37名。 未確認5名。</p> <p>【新入生の避難20名】 主に関東圏。 未確認約10名。</p>	<p>教職員34名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>【教職員の避難2名】 東京・群馬</p>	<p>①建物周辺は液状化により、隆起し凸凹状態、給水管・汚水管破損、水道は使用できず（受水槽使用できず断水）。 ②体育館から職員室のつなぎ目（増設）破損 ③特別教室等の2号館・3号館への渡り廊下接続部損壊。通行止め。 ④柔剣道場、屋根破損及び内部天井板が剥離。使用中</p>	<p>休校4.7まで 二次選抜受付4.11 9時から16時、 試験4.12 9時（作文・面接）、 合格発表4.12 14時、 合格者オリエンテーション4.14 10時 始業式4.22 入学式4.25 10時</p> <p>《運営上困っていること》 学校施設等の復旧、原発事故、JR・バス不通</p>
<p>磐城緑蔭高校</p>	<p>在校生85名 新入生23名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>【在校生の避難39名】 東京10名、埼玉・千葉各5名、茨城4名、静岡3名、神奈川2名、栃木・石川・新潟・山梨・長野・兵庫・香川・熊本・会津・須賀川各1名、</p> <p>【新入生の避難3名】 京都・山形・東京</p>	<p>教職員27名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>【教職員の避難1名】 伊豆</p>	<p>①水道管破損（上水、下水とも使用不可） ②体育館ガラス2枚破損 ③校舎間の渡り廊下の下部ひび割れと一部損壊 ④校舎内に数カ所のひび ⑤昇降口付近の地盤の若干の低下 ⑥校庭のわずかな地割れ ⑦駐車場のわずかな地割れ など</p>	<p>始業式4.8 入学式4.7 13:00</p> <p>《運営上困っていること》 原発事故、JR・バス不通、ガソリン不足、断水、ガス復旧せず。</p>
<p>東日本国際大学附属昌平高校</p>	<p>在校生251名 新入生 名</p> <p>人的被害なし。</p> <p>【在校生の避難80名】 東京、千葉、茨城、栃木、群馬、福岡、京都、大阪、青森、山形、秋田等</p>	<p>教職員27名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>①運動場一部に亀裂が入り立ち入り禁止</p>	<p>休校4.10まで 特准B日程入試3.30 8:45、 合格発表（ホームページ）3.31 普通科入試4.11以降 自主登校解禁日（部活動、特進補習など）4.18 始業式4.28 13:00 入学式4.28 10:00</p> <p>《運営上困っていること》 ガソリン不足で移動に不便。</p>

<p>いわき秀英高校</p>	<p>在校生 300名 新入生 145名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>教職員 41名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>①理科室、図書室等の備品等損壊</p>	<p>休校 3.31 まで 新入生の入校確認日 4.6 以降 始業式 4.19 10:30 入学式 4.20 13:00</p> <p>《運営上困っていること》 断水、JR・バス不通</p>
<p>松栄高校</p>	<p>在校生 68名 新入生 25名</p> <p>【在校生の避難 55名】 国内各地に避難。 未確認 1名。</p> <p>【新入生の避難 19名】 国内各地に避難</p> <p>保護者は数十人亡くなっている。</p>	<p>教職員 23名</p> <p>【教職員の避難 20名】 国内各地。 教員 1名行方不明。</p>	<p>①校舎内ひび割れ多数 ②実習棟の傾き</p> <p>※3.23 現在、破損状況調査継続中</p>	<p>《運営上困っていること》 開始の見通しがたたない。</p>
<p>【中学校】</p>				
<p>秘の聖母学院 中学校</p>	<p>在校生 124名 新入生 49名</p> <p>生徒の被害なし。 保護者の安否は 3.22 現在で連絡はない。</p> <p>【在校生の避難未確認】 山形、神奈川、青森、群馬、石川、長野、東京、会津等</p>	<p>教職員 14名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>(上記高校で一括回答)</p>	<p>生徒 4.4 まで休校 二次入試 3.18 実施し、内容は当初と変更し面接のみとし、出願 5名 (全員合格)。 新入生オリエンテーション中止。 教職員全員出勤 4.1 9時 始業式 4.5 入学式予定 4.6 13:30</p>
<p>福島成蹊中学校</p>	<p>在校生 99名 新入生 37名</p> <p>生徒の被害なし。</p> <p>【在校生の避難 11名】 県北以外に個別に避難</p>	<p>教職員 12名</p> <p>人的被害なし。</p>	<p>なし。</p>	<p>教職員 3.27 まで自宅待機 生徒 3.28 まで自宅待機 新入生オリエンテーション 4.2 始業式 4.7 入学式 4.8</p>

郡山ザベリオ学園中学校	在校生 126名 新入生 69名 人的被害なし。 【在校生の避難3名】 東京、山形、京都	教職員 19名 人的被害なし。	①壁、床にひびが入ったが異常なし。	休校 3.19 まで 春休み 3.22 から 終了式中止 新入生課外（英語・数学）中止 始業式 4.5 入学式 4.5 13:30 《運営上困っていること》 JRが運休のため、代替のスクールバスを出さざるを得ない状況。
学校法人石川義塾中学校	在校生 44名 新入生 21名	(上記高校で一括回答)	(上記高校で一括回答)	休校 3.14 から 終業式中止 教職員休業 3.18~3.22 新入生オリエンテーション 4.3 始業式 4.6 入学式 4.7
会津若松ザベリオ学園中学校	在校生 33名 新入生 30名 人的被害なし。 【在校生の避難6名】 新潟3名、カナダ・三重・東京各1名 【新入生の避難1名】 中国	教職員 30名 人的被害なし。	(上記高校で一括回答)	終了式 3.17 午後 始業式 4.8 9:00 入学式 4.8 13:30
東日本国際大学附属昌平中学校	在校生 17名 新入生 名 人的被害なし。 【在校生の避難10名】 茨城、静岡、埼玉、群馬、福島市、会津若松市	教職員 4名 (上記高校で一括回答)	(上記高校で一括回答)	休校 4.10 まで 始業式 4.28 13:00 入学式 4.28 10:00 《運営上困っていること》 ガソリン不足で移動に不便。
磐城緑蔭中学校	(上記高校で一括回答)	(上記高校で一括回答)	(上記高校で一括回答)	始業式 4.8 入学式 4.7

【小学校】				
桜の聖母学院 小学校	在校生 280名 新入生 40名 児童被害なし。 保護者は3.22現在なし。	教職員 22名 人的被害なし。	①本校舎、クラック少々あり。 ②木造校舎、壁の剥離・落下2ヶ所。クラック多数 ③体育館、北壁面の一部に浮き	終業式中止 始業式 4.5 入学式 4.6 《運営上困っていること》 建物の一部を幼稚園として使用し、小学校の一部が短大校舎を使用する準備と校舎補修の財政面が厳しい状況。
郡山ザベリオ 学園小学校	在校生 343名 新入生 54名 人的被害なし。 【在校生の避難多数】 中国、台湾、神戸、新潟、 埼玉、大阪、宮城、岐阜、 神奈川、東京、広島、長 崎、会津若松 【新入生の避難8名】 アメリカ、東京、富山、 山口、愛知、兵庫、会津 若松	教職員 20名 人的被害なし。 【教職員の避難1名】 アメリカ	①壁、床にひびが入ったが異常なし。	休校 3.19 まで 春休み 3.22 から 終了式中止 卒業式 4.3 予定 登校日（新2～6年生） 4.5 始業式 4.6 入学式 4.6 10:00 《運営上困っていること》 鉄道が復旧しない路線が多いため、通学に支障 をきたしている。 放射能汚染の心配があり、他地域のへの避難が 増えている。また、外での活動ができない（し ないでほしいという保護者の要望もある）。
会津若松ザベ リオ学園小学 校	在校生 134名 新入生 30名 人的被害なし。 【在校生の避難8名】 カナダ、長崎、埼玉、東 京	教職員 19名 人的被害なし。	なし。	全て予定通り実施 (始業式 4.6 入学式 4.6)

茨城

■ 東北地方太平洋沖地震(3/11)による私立学校被害状況

総務課私学振興室
3/17(木)15時00分現在

	高校(全日)	高校(通信) ※ 単独校	中等	中学校	小学校	幼稚園	専修	各種	計
学校数	23	4	2	10	4	202	64	18	327
人的被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
物的被害	22	3	2	8	2	132	50	11	230
著しい支障がある 学校 ※	2	0	0	0	0	3	0	0	5
その他	20	3	2	8	2	129	50	11	225

●連絡がつかない学校
各種1(休校中)

※ 著しい支障のある学校

	名称	建築年	構造	床面積	耐震診断	被災状況	今後の措置
高校(水戸市)	1号館校舎の 連結棟	S34~37に建 設, S41に増 築	鉄筋コンク リート3階建	4895㎡	未実施	柱が剪断破 壊	被災部分(連結棟)を撤去。 耐震診断実施予定。プレハ ブ校舎20クラス分設置予定
高校(水戸市)	本館(校舎)	S46	鉄筋コンク リート4階建	2447㎡	未実施	柱が剪断破 壊	耐震診断実施予定。クラス再 編成し、プレハブ校舎8クラ ス分設置予定
	洗心館(武道 場)	S61	鉄骨平屋	903.9㎡	—	天井落下	改修予定
幼稚園(水戸市)	園舎	S58	鉄骨2階建	156.80㎡	未実施	外壁ひび割	仮園舎手配中 専門家による調査実施予定
	ホール	H14	木造平屋	134.50㎡	未実施	壁剥落, 窓ガ ラス破損	
幼稚園(ひたちなか市)	園舎	S51	鉄骨2階建	1131.17㎡	未実施	建物半壊, 使 用不可	仮園舎手配中。既存園舎は 取り壊して新築予定
幼稚園(潮来市)	園舎	S49	鉄骨平屋	273.90㎡	未実施	液状化現象 により園舎使 用不可	当分の間、廃園した公立幼 稚園を使用。既存園舎は取 り壊し予定